

\*臨時休業で、どのような生活を送っていますか？ 規則正しい生活をし、勉強をしっかりとし、この機会に読書も大いにしましょう。

国語教材に関連して、**知的な高校生なら当然読むべき本** を挙げてみました。

例えば、次のような本があります。

[1] 現代文に関連して

1年

**芥川龍之介**『羅生門』を学習するので、関連して芥川龍之介の諸作。

例えば

『鼻』『芋粥(いもがゆ)』『蜘蛛(くも)の糸』『トロッコ』は小中学生で読んだことがあるだろうか。加えて

『杜子春(とししゅん)』『地獄変』『戯作三昧(げさくざんまい)』『枯野抄(かれのしょう)』『舞踏会』『蜜柑(みかん)』『歯車』『河童(かっぱ)』などなど。

**志賀直哉**『城(き)の崎にて』に関連するなら

『清兵衛と瓢箪(ひょうたん)』『小僧の神様』は小中学生で読んだことがあるだろうか。

『網走(あばしり)まで』『范(はん)の犯罪』『和解』『真鶴(まなづる)』『暗夜行路(あんやこうろ)』『濠端(ほりばた)の住まひ』

**太宰治**『富嶽百景』を扱う場合。

『女生徒』『お伽(とぎ)草紙』『黄金風景』『走れメロス』『津軽(つがる)』『ヴィヨンの妻』『斜陽』『人間失格』などがある。

2年

**中島敦**(あつし)『山月記』は必ずやるので、その延長として

『李陵』『名人伝』『弟子』『文字禍』『悟浄歎異』。これで一気に文学と東洋史が好きになる。さらには『斗南先生』などなど。

**夏目漱石**『こころ』もやるので、

『坊っちゃん』『吾輩は猫である』『虞美人草』『夢十夜』『三四郎』『それから』『門』・・・と読んでいく。文明批評『現代日本の開化』『私の個人主義』なども読む。

漱石山脈に連なる**寺田寅彦**(物理学者)、**和辻哲郎**(倫理学者)などにも手を伸ばすとよい。

3年

**森鷗外**『舞姫』を授業で扱うと非常に勉強になる。関連して

『うたかたの記』

『青年』『雁(がん)』は現代小説。

『阿部一族』『山椒大夫』『高瀬舟』『安井夫人』『渋江中斎』は歴史小説、史伝。

梶井基次郎『檸檬』以外に『冬の日』などもある。

他に、語彙が豪華絢爛なのは三島由紀夫『金閣寺』ほか。

2, 3年で丸山真男『「である」ことと「する」こと』を扱うだろう。岩波新書『日本の思想』は必読。関連して福沢諭吉『福翁自伝』、石田雄（たけし）『平和の政治学』、イエーリング『権利のための闘争』、湯浅誠『ヒーローを待っていても世界は変わらない』、橋場弦（ゆずる）『民主主義の源流』など。庄司薫『赤ずきんちゃん気をつけて』も。

加藤周一『日本文化の雑種性』を扱う場合、  
自伝『羊の歌』は読みやすい。エッセイ集なども多数ある。

## [2] 古典に関連して

『源氏物語』は現代語訳が与謝野晶子、谷崎潤一郎、田辺聖子、瀬戸内寂聴らの訳がある。漫画『あさきゆめみし』もある。もっと簡単なのは学習漫画『源氏物語』だ。

『平家物語』『竹取物語』『徒然草』『奥の細道』などは文庫本ですぐ買える。音読をしてみよう。

総じて日本古典文学については、角川ビギナーズクラシックに入門書がある。また田辺聖子ほかの楽しい入門書がある。

『史記』『戦国策』なら、翻案の傑作が多数ある。  
宮城谷昌光（みやぎたにまさみつ）『王家の風日』『太公望（たいこうぼう）』『重耳（ちょうじ）』『孟嘗君（もうしょうくん）』『奇貨居（お）くべし』など。  
司馬遼太郎『項羽と劉邦』など。

『論語』『孟子』なども各種文庫がある。この際座右に置いてめくってみたい。

## [3] その他

辻邦生（つじくに）『背教者ユリアヌス』や陳舜臣『阿片戦争』、浅田次郎『蒼穹（そうきゅう）の昴（すばる）』もおもしろい！ 世界史が好きで得意になる。  
井上靖『額田王（ぬかたのおおきみ）』『天平（てんぴょう）の薨（いらか）』『敦煌（とんこう）』『楼蘭（ろうらん）』も日本史・世界史と関連がある。

(R 2. 3. 16 国語 安井)